

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年11月8日
タイトル	みんなで給食米を刈ったよ！2019
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年10月17日（木）福山市立東村小学校全児童、福山市立東村保育所児童、来年度に学校再編が予定されている福山市立今津小学校の縦割班の子ども達が、学校給食食材納入グループ「若草会」の学校農園約20aのほ場で、給食で食べるお米の稲刈りをしました。

今津小学校の子ども達が一緒に農業体験をするためバスで東村小学校まで移動し、東村小学校の子ども達と一緒に東村小学校から歩いてきました。天気がよく絶好の稲刈り日和で稲刈りに夢中になると汗ばむ陽気です。

みんな楽しみにしていた稲刈りの始まりです。まず学校給食食材納入グループ「若草会」代表の杉原直道さんより「みんなが田植えで植えた稲が猛暑、台風、ウンカと3つの試練を乗り越えて大きく育ってくれました。」と挨拶され、子どもを代表して東村小学校から「若草会のみなさんが田作りや水の管理をして稲を育ててください、ありがとうございました。今日は今津小学校のみんなと稲刈りができるとワクワクしています。」今津小学校から「東村小学校の稲刈りに参加できてうれしいです。準備やお世話をさせていただきありがとうございました。」と挨拶しました。

東村小学校の2年生と5年生から稲刈前に発表がありました。2年生は田植えから稲刈りまでの間、何回も稲の観察にきて成長を記録していました。最初3本だった苗が大きな株になってお米が1,475粒も実っていたそうです。5年生は野菜作りについて発表しました。栽培した野菜の種類も多く、白菜の葉が土につかないように藁を敷いたことなどきめ細かい栽培の様子を聞き、感心しました。



いよいよ稲刈りです。子ども達全員が稲刈りに参加するため横一列に並びました。初めて稲刈りする子もいるため2人ずつ交代で鎌を持ち若草会や地域の方に教えていただきながら稲刈りをしました。

東村小学校の高学年の子は慣れた手つきで、ザクザクと小気味よく刈っていきます。慣れていない子供たちも最初はぎこちない手つきでしたが、すぐに上手になっていきました。みんな黙々と稲刈りをしました。子ども達が真剣に稲刈りをし、ふざけたりケンカしたりしないのでケガもしないし上達するのもすごく早いのだと思いました。



刈った稲はコンバインで脱穀するため、時間がくると稲刈りを終わらなくてはなりません。みんなもっと稲刈りを続けたいようでしたが脱穀のため刈った稲を運ぶため全員で協力してコンバインまで運んで脱穀しました。

毎年はず掛けにしており初めてコンバインで脱穀することになりましたが、子ども達は自然に稲の束を揃えたり落穂を拾っていました。脱穀が終わると落穂が全くないので流石だなと感心しました。



稲刈りを終わると今津小学校の校長先生より「田植えの時は水の冷たさを覚えておこうと言いました。今日は、心地よい風や稲を持った感触、鎌で刈るときの手ごたえ、運んだときの稲の重さを覚えて帰りましょう。」と話され、東村小学校の校長先生より「若草会をはじめ地域の皆様に感謝します。稲刈りを経験したことにより今日食べるご飯の味も違った事を感じてくれると思います。」と話されました。

東村小学校、今津小学校の子ども達が元気一杯に「ありがとうございました。」と挨拶をして稲刈りは終わりました。

収穫した米は東村小学校と今津小学校に納入され給食で食べられるそうです。子ども達から「給食で新米を食べる日が待ち遠しい」「東村小と今津小と一緒に稲刈りできて楽しかった。」と聞きました。

学校再編に向けて2つの小学校が交流を重ねておられ、農業体験で子ども達の距離がぐっと近くなったと思いました。

東村小学校では、収穫した米を使って子ども達が調理実習をし若草会や地域の方を招いて「収穫祭」をするそうです。ぜひ取材したいと思います。